



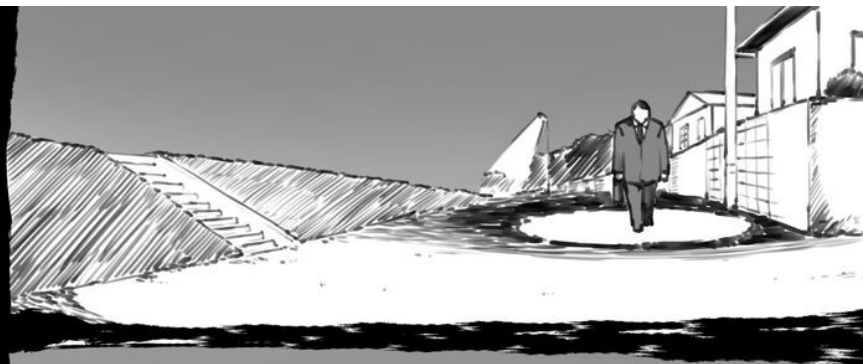
ぼつやまくさお
僕は勃山臭雄、43歳
サラリーマン勤務を続けて
20年が経つ

何の取柄もなく
今までに彼女が
出来たこともない

孤独死まっしぐらの
人生と言える

今日もいつものように
仕事が終わって郊外にある
賃貸マンションの
1階にある部屋に
帰ろうとした時のことだった













フツ
フツ
何もない

：いやあ
大丈夫です
から

さっきの
不気味な老人は
何処に消え
たんだ：？

犯して
ください...

気にしないで
ください...



あとは好きに
するがいい



お前に
女を虜にする
ちから
魔眼を与えた...

キラッ



お願い...



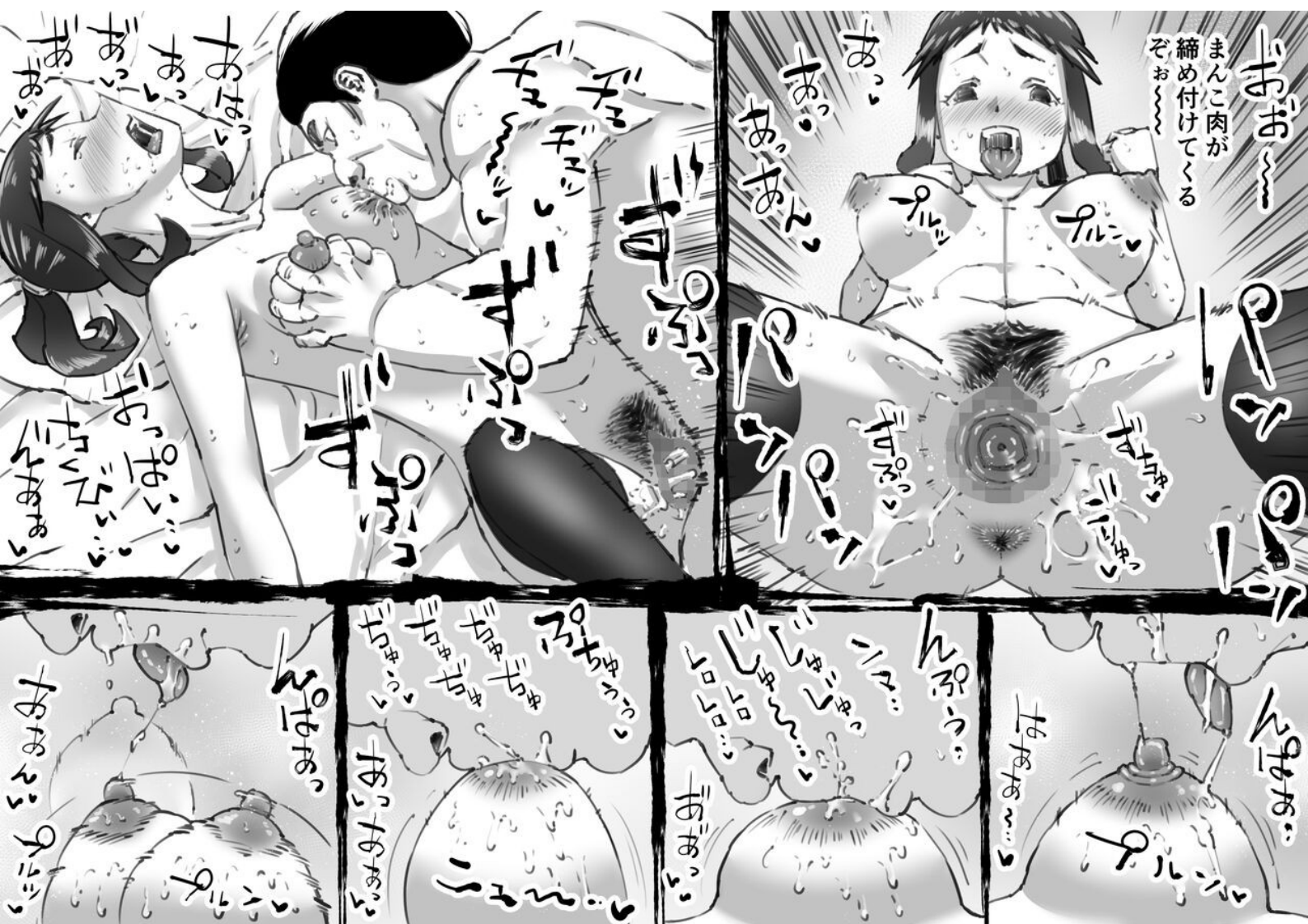
なんだ...
目の色が...



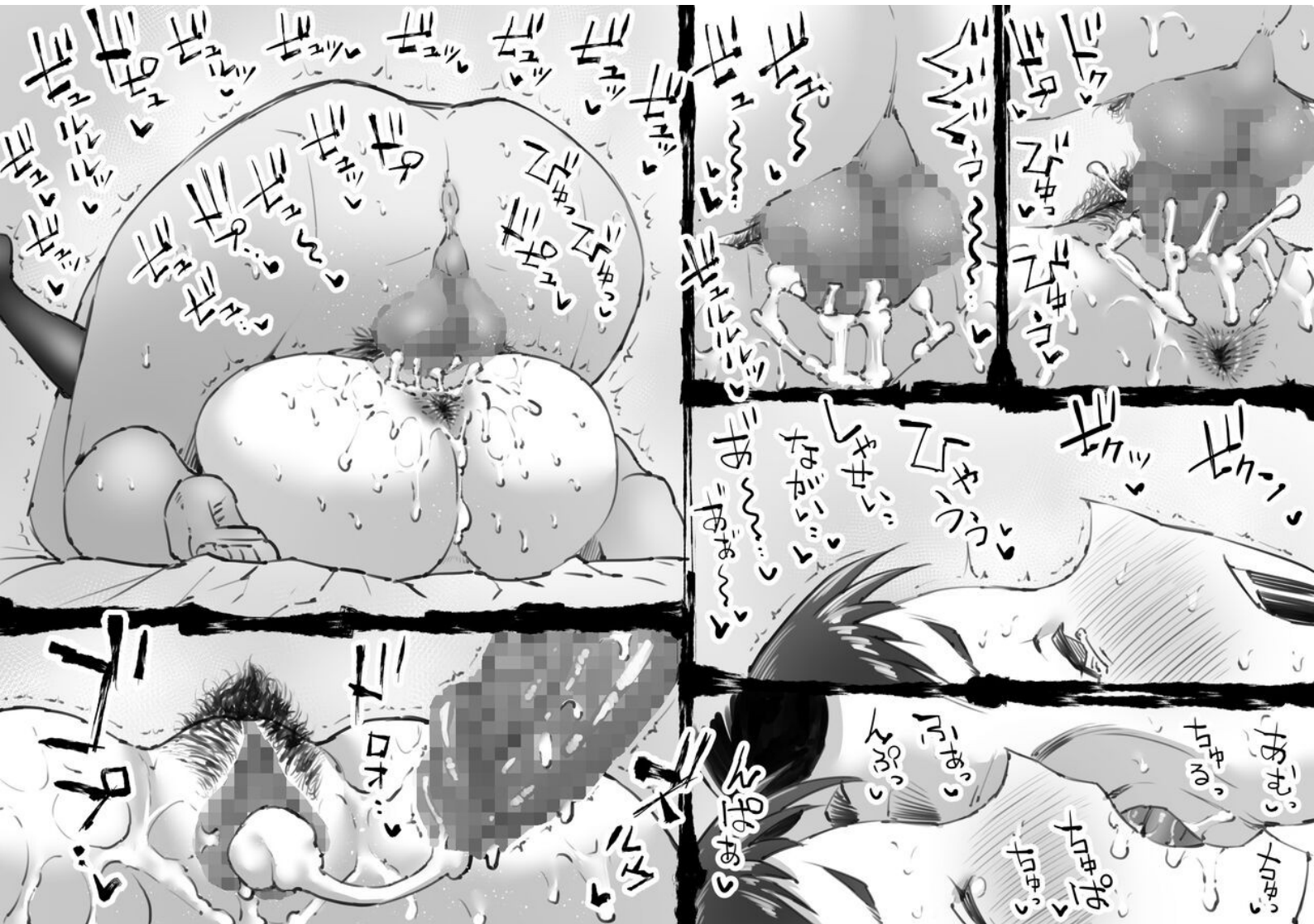






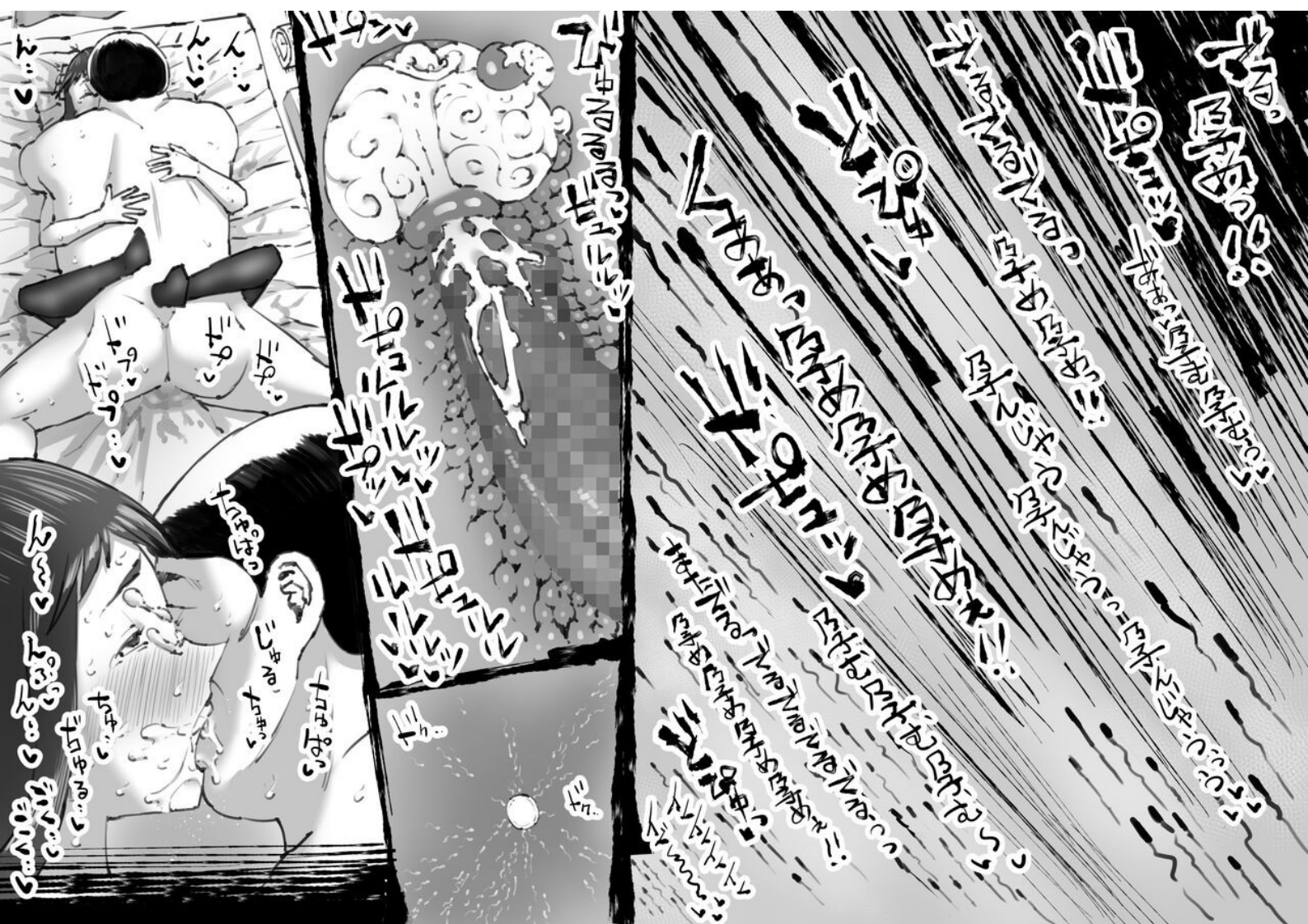












これから
毎日たっぷり
ザーメン
仕込んでやる…

はっ…

はっ…
はっ…

私は
ご主人様の
肉奴隷です…

いつでも
自由に使っ
てください…

グフフッ
いい返事
だあ…

僕は
童貞卒業と共に
最初の肉奴隷を
手に入れた…

魔眼の影響によって
内気だった
性格が変わり—

この
魔眼の力で

それだけ
じゃない…

尽きることのない
異常性欲が
湧いてくるのだ…









奥まで
丸見えだ…



いいひり出し
つぷりだった
ぞお…



ご褒美を
あげないと
なあ…







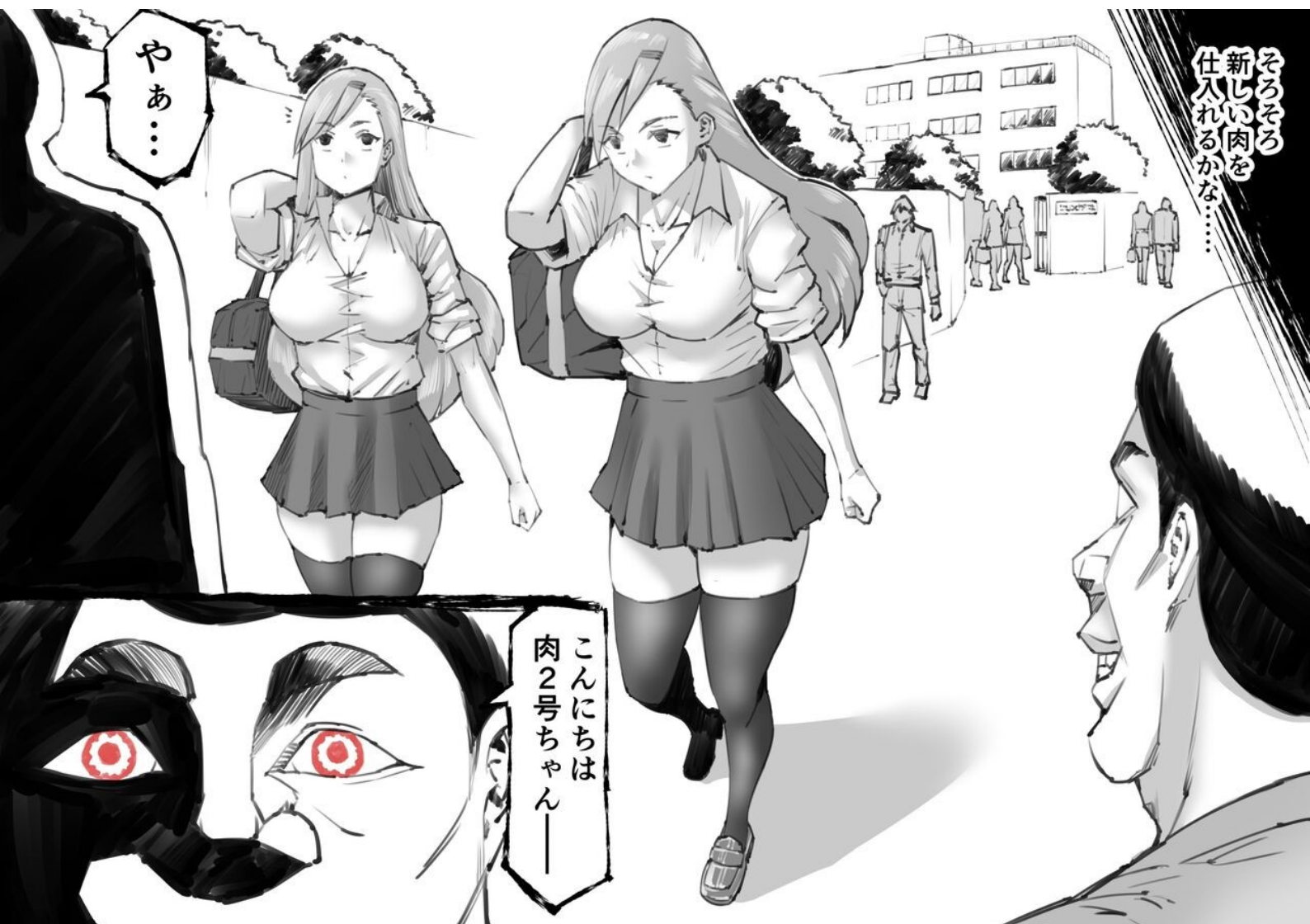






まだだ…
これだけじゃ
まだ足りない—





まがん
魔眼
の翁
おきな

次回も
よろしくお願いします
2023.11.22
中山周



中山真雄
まがん



麻野
あまの
夕菜
ゆな